

作成日：西暦 2026 年 3 月 12 日

2025 年度に古河電気工業株式会社で行われた健康診断及び体力測定に参加された方へ

産業医科大学及び古河電気工業株式会社では、以下の研究を実施しております。この研究は古河電気工業株式会社で行われた 2025 年度の健康診断、及び体力測定の数値を用いて実施する研究です。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和 3 年 3 月 23 日制定 令和 3 年 6 月 30 日施行）」により、対象となる皆様のお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。本研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

1. 研究課題名

職域における身体機能測定の意義に関する探索的研究

2. 研究期間

研究機関の長の許可日～2029 年 3 月 31 日

3. 研究機関

産業医科大学 産業生態科学研究所 作業関連疾患予防学

古河電気工業株式会社 戦略本部 人材・組織開発部 健康推進センター

4. 研究責任者

産業医科大学 産業生態科学研究所 作業関連疾患予防学 助教 松垣 竜太郎

古河電気工業株式会社 戦略本部 人材・組織開発部 健康推進センター 統括産業医 幸地 勇

5. 研究の目的と意義

[目的]

我が国では、少子高齢化に伴う労働力人口の減少を背景に、高年齢者を含む労働者がより長く就業し続けられる環境の整備が社会的課題となっています。内閣府の令和 7 年版高齢社会白書によれば、65 歳以上の就業者数は近年一貫して増加しており、2024 年には過去最多を更新しています。このような状況のもと、労働者が長く健康かつ安全に働き続けられるよう支援するためには、定期健康診断で把握されている血圧・血液検査・心電図・BMI といった医学的指標に加え、就業継続に関わる体の状態をより幅広い視点で評価することが求められています。

近年の研究では、労働者の身体機能が健康上のリスクと関連することが報告されています。製造業労働者 475 名を対象とした研究では、握力の低下が肺機能障害と関連することが示されており、また日本の製造業労働者を対象とした 6 年間の追跡研究では、身体機能の低下がその後のメタボリックシンドローム発症リスクの上昇と関連することが報告されています。さらに、60 歳以上の労働者を対象にした研究では、平衡機能などの身体機能が転倒と関連することが報告されています。これらの知見は、身体機能の評価が従来の健康診断指標では捉えにくい健康リスクの把握に資する可能性を示しています。

しかしながら、職域における身体機能測定の意義を、健康診断データと組み合わせて検討した研究はいまだ限られています。本研究は、貴事業所において蓄積されてきた身体機能測定関連情報と健康診断関連情報等を活用し、身体機能測定が労働者の健康管理においてどのような意義を持つかを明らかにすることを目的としています。

[意義]

本研究の成果は、身体機能を考慮した今後の職域における健康管理のあり方や就業支援施策の立案に資するものです。

6. 研究の方法

本研究は、2025年度の身体機能測定、健康診断等から得られた情報を用いた後方視的研究です。対象者は、研究対象事業所で2025年度に身体機能測定及び健康診断を受けた方々です。研究参加拒否のあった方は対象から除外します。本研究では研究対象事業所の保有する身体機能測定、健康診断情報等の匿名加工されたデータを研究責任者兼情報管理責任者が受領して研究に利用します。匿名加工されたデータの解析は産業医科大学に籍を置く研究者が行います。本研究では以下の情報を研究に用います。

1. 健康診断関連情報（性、年齢、身長、体重、腹囲、生活習慣、併存疾患、既往疾患、視力、聴力、血圧、血液検査値）
2. 身体機能測定関連情報（握力、平衡機能）
3. その他（ヘルスリテラシー、労働機能障害、アテネ不眠尺度、AUDIT-C、知覚された組織からの支援・上司からの支援、ワークエンゲージメント、K6、筋骨格系疼痛、転倒）

7. 個人情報の取り扱い

本研究では個人情報を完全に削除した匿名加工データを扱います。この研究で得られたデータは、当該論文等の発表後10年間保存された後、研究責任者の管理の下、ファイル完全削除ソフト等で削除し、その内容を復元できないようにします。

8. 得られた情報の利用目的の範囲

- ・学術発表など研究目的：あり
- ・第三者提供：あり（論文投稿雑誌の要求がある際に限る）
- ・海外への提供：あり（論文投稿雑誌の要求がある際に限る）
- ・公的データベース等への登録：なし

9. 問い合わせ先

産業医科大学 産業生態科学研究所 作業関連疾患予防学

助教 松垣 竜太郎 (093-691-7471)

古河電気工業株式会社 戦略本部 人材・組織開発部 健康推進センター

統括産業医 幸地 勇 (090-6724-5650)

10. その他

本研究に参加することによる直接的な利益はありません。また、経済的負担や謝礼もありません。本研究は、文部科学省科学研究費助成事業補助金(24K20394)、産業医科大学運営費(講座研究費、産業医学・産業保健重点研究費)、奨学寄付金(一般社団法人瀬戸健康管理研究所)、公益財団法人酒井 CHS 振興財団労働衛生研究助成により実施されます。本研究は一切の利益相反はなく、産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており、公正性を保ちます。